

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	老健ダイケア・准看護学校 増築工	階数	地上3F
建設地	埼玉県熊谷市石原510番、516番、517番	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,240時間/年(想定値)
建物用途	学校・病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2020年5月 竣工	評価の実施日	2020年7月19日
敷地面積	11,145 m ²	作成者	狩野 真也
建築面積	4,209 m ²	確認日	2020年7月19日
延床面積	4,209 m ²	確認者	狩野 真也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 138 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 87%

③ 上記+②以外の: 87%

④ 上記+: 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 北側に低層階、南側に高層階を配置し、北側建物の日照を確保した。周囲の建物と馴染むような外観の配色を計画した。		その他 施設は地震等の緊急時の停電に対応出来るよう非常用自家発電機を設けた。
Q1 室内環境 各個室、利用居室毎に空調エリアを分ける事で、利用者の自由に制御・調整出来る事で、快適な室内環境となる様に配慮した。個室は内部まで明るくなるように窓面積を多くする計画をした。	Q2 サービス性能 各部屋の床面積はご利用者に対してゆとりのある面積を確保した。また、手すりの設置や可能な限り段差を無くすることで、高齢者や車椅子でも利用しやすい施設計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 庭に樹木・下草・芝・ウッドチップを配置し緑を確保するだけでなく視覚的にも楽しめる計画をした。また屋上、駐車場にも緑地を計画した。
LR1 エネルギー 照明は高効率で耐用年数の長いLEDを採用することで一次エネルギーの削減に配慮すると共に、空調計画では空調負荷を考慮し全熱交換器を採用した。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造の為、リサイクルの際には躯体と仕上げ材の分離可能な構成とした。断熱材もグラスウール及びノンフロン発泡ウレタンすることで地球温暖化対策に配慮した。	LR3 敷地外環境 空調室外機は屋上にまとめて設置し、敷地外への影響が少なくなるようにした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	老健デイケア・准看護学校 増築	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	-----------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.5	+	1.3	=	4.8 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.5
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
照明は高効率で耐用年数の長いLEDを採用することで一次エネルギーの削減に配慮すると共に、空調計画では空調負荷を考慮し全熱交換器を採用した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
庭に樹木・下草・芝・ウッドチップを配置し緑を確保するだけでなく視覚的にも楽しめる計画をした。また屋上、駐車場にも緑地を計画した。			

:入力欄

CASBEE-建築(新築)2016年版
老健デイケア・看護学校 増築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		竣工段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.6	
Q1 室内環境					0.40	-	-	2.7	
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.33	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.38	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.14	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.14	-	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.54	-	-		
2 外皮性能				3.0	0.36	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.11				
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.2	0.25	-	-	2.2	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		
1 昼光率				3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口					-				
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				1.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				1.0	1.00	-	-		
3.3 照度				2.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				2.8	0.25	-	-	2.8	
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	-	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.38	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.24	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.38	-	-		
4.3 運用管理				2.2	0.20				
1 CO ₂ の監視				1.0	0.36				
2 喫煙の制御				3.0	0.64				
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9	
1 機能性				2.8	0.40	1.0	1.00	2.8	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性					-				
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00				
3 バリアフリー計画				3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	1.0	1.00		
1 広さ感・景観				2.0	0.36	-	-		
2 リフレッシュスペース					-				
3 内装計画				3.0	0.64	1.0	1.00		
1.3 維持管理				3.0	0.30				
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30			2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				2.6	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	建物用途を考慮し、快適な空間となるように計画した	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱材及び開口部の性能を考慮し熱負荷が小さくなるよう計画し	5.0	0.20			5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.83	2.8	0.50			2.8
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価				-			
4.1	モニタリング			-			
4.2	運用管理体制			-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60			2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20			2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70			
1	消火剤		2.0	0.33			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2の排出量を一般値より少なくなるよう計画した	3.5	0.33			3.5
2 地域環境への配慮			2.0	0.33			2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.50			
2	振動		3.0	0.50			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			